

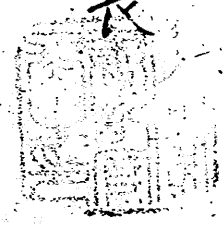
九

內閣閣甲第五三六號

昭和二十年十一月二十六日

書記官長

內閣書記官長



各官次官殿
 法務局長官殿
 賞勳局長官殿
 情報局長官殿
 逓信局長官殿
 陸軍省復興院總裁殿
 大東亞戰爭調査會事務局長殿
 樞密院書記官長殿
 會計検査院院長殿
 行政裁判所長官殿

貴來函及書記官長殿
 高等補復審檢所長官殿
 横須賀佐世保商補復審檢所長官殿

各廳職員ニ對スル昭和二十年未賞與支給方
 針ニ関スル件
 標記ノ件本百次官會議ニ於テ別紙ノ通決定致候
 條及通標候

原本不明瞭

原本不明瞭

裏面白紙

各縣職員ニ對スル昭和二十年末賞與支給方針ニ関スル件
終戦後、諸物價ノ騰貴並一般ノ生活状況ニ鑑ミ各縣ハ左記方針ニ依リ昭和二十年
末賞與ヲ支給スルモノトス

記

- 一 各府及所屬部局ノ職員ニ對シテ昭和二十年末賞與ハ基本給(年俸月額額、月俸給、給料又ハ年當月額)ト戰時新給手當及臨時奉給手當(別居ニシテ家族ニ對スル増加支給ノ分ヲ除ク)、合算月額ノ基準トシテ概テ昨年末ノ支給率ニ依リ支給スルモノトス
- 二 前項ノ場合ニ於テハ高年官ノ支給率ハ右基準月額額ノ最高七十割ヲ超スルニ限ラズ
- 三 上ノ二ニト
- 四 算額ノ基準月額額ノ取扱ハ昭和二十年末限ニシテ前年度ノ賞與支給額ノ取扱ノ例ト爲シテトス